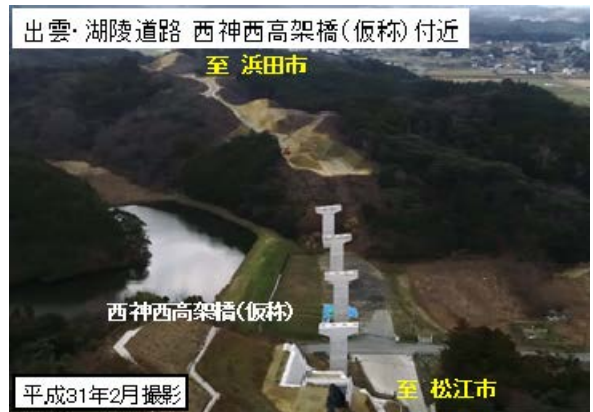


第656回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 山陰道整備事業（湖陵・多伎道路）

- ・一般国道9号は東西を結ぶ唯一の幹線道路であり、近隣に代替路となる幹線道路が無く、通行止め時は大幅な迂回が必要。
- ・通行止め時は、日常の生活及び経済活動として必要な交通機能が損なわれ、緊急輸送道路についても未確保の状況。
- ・出雲・湖陵道路（延長4.4km）及び湖陵・多伎道路（延長4.5km）は、交通障害の解消や安全で信頼性の高い道路網を構築し、地域経済の振興、救急医療の向上及び生活圈域の連携を促進することが期待されている自動車専用道路。
- ・令和元年度は、用地補償、改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を実施。

…………… 出雲市知井宮町～多伎町



2. 神門通り線 都市計画街路事業 [H25年度全建賞]

- ・神門通りは、出雲大社への参詣道として国鉄大社線の開通（1912年）にあわせ整備され、沿道には歴史的建造物や旅館、土産物店が軒を連ね、多くの参拝客で賑わう門前町として栄えてきた。
- ・車社会の到来や国鉄の廃線等の影響により、歩行者の往来が減り、にぎわいが消失。出雲大社の「平成の大遷宮」を契機に地元自治体や関係団体及び地元住民が一体となって、出雲大社の門前にふさわしい風格と賑わいのある通りへの再生に取り組んだ。
- ・平成20年に商店街有志や地域住民等が中心となった「神門通り魅りの会」が結成され、ガイドマップ等の情報発信事業、日よけ暖簾等の修景事業、置き座やフラワーポット等のおもてなし事業など様々な取り組みが実施。
- ・神門通りの再整備等により平成18年に22店舗だった沿道店舗数が現在は73店舗に増え、多くの参拝客で賑わっている。なお、神門通り線都市計画街路事業は平成25年度全建賞を受賞。

…………… 出雲市大社町



3. 斐伊川放水路事業 [H25年度全建賞]

- ・島根県東部を流れる斐伊川と神戸川の抜本的治水対策は沿川に大きな洪水被害をもたらした昭和47年7月洪水を契機として、上流・中流・下流で互いに治水機能を分担して流域全体の安全性を向上させるよう計画され、①上流部のダム建設（斐伊川及び神戸川）、②中流部の斐伊川放水路建設と斐伊川本川の改修、③下流部の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備、の3点セットで整備を実施。
- ・斐伊川放水路は、斐伊川を流れる洪水の一部を分流し、隣接する神戸川へと合流させて日本海へと流すもので、斐伊川下流域の洪水を減らすとともに、神戸川の安全性を高くするよう計画
- ・斐伊川放水路は、全体延長13.1kmで、斐伊川と神戸川とをつなぐために延長4.1kmにわたり出雲市の市街地南部の丘陵地帯を掘削し、幅約100mの新しい水路をつくり出すことで、影響する河口までの延長9kmにわたる川幅を従来の1.5倍となる300～370mに拡幅。
- ・斐伊川放水路事業は、昭和57年に事業着手し、平成25年6月に完成。
- ・また、環境・景観への配慮がなされている点が評価され、平成25年度の全建賞を受賞。

…………… 出雲市西園～大津町

